



## 平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月14日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東  
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	560	△15.5	101	925.7	96	—	89	—
26年11月期第1四半期	663	578.1	9	—	6	—	4	—

(注) 包括利益 27年11月期第1四半期 108百万円 (469.84%) 26年11月期第1四半期 19百万円 (26.95%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	2.41	2.36
26年11月期第1四半期	0.11	0.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第1四半期	2,732	1,669	61.0	44.57
26年11月期	2,097	1,523	72.5	41.24

(参考) 自己資本 27年11月期第1四半期 1,666百万円 26年11月期 1,521百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,380	3.8	285	4.2	280	6.1	260	3.5	7.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期1Q	37,461,371株	26年11月期	37,077,371株
② 期末自己株式数	27年11月期1Q	127,500株	26年11月期	127,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期1Q	37,166,471株	26年11月期1Q	36,803,205株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等に付いては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年12月1日～平成27年2月28日)における国内経済は、消費税増税に伴う個人消費の停滞が懸念材料となりましたが、雇用や設備投資等は改善傾向にあり、アベノミクスによる経済政策や日銀の追加金融緩和等の効果により、全体的には緩やかな回復傾向が続き、企業業績の改善も概ね好調に推移しております。

当社グループの主要事業である不動産業界では、日銀の追加金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、J-REITのみならず事業会社や私募ファンドによる大規模な取引が行われる等不動産市況の回復はより鮮明になりつつあります。また、アジアをはじめとする欧米の投資マネーが日本に流入し、優良物件に投資する等の動きが見られました。太陽光発電業界におきましては、電力の固定買取制度を活用した長期安定運用ニーズ、グリーン投資減税の活用ニーズや、電力小売りの全面自由化を控え新規事業者の参入も増加する一方で、固定価格の見直しが行われる等、開発業者間の競争も高まりつつあります。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第1四半期連結累計期間も引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて営業力の強化を図り、積極的に営業活動を行って参りました。また、新たな不動産ファンドである相続税対策ファンドや投資家ニーズにあった魅力的な証券ファンドの開発に努めて参りました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第3号ファンドである「三重芸濃ソーラーファンド」の組成を行い、証券会社・税理士法人グループの顧客紹介により、富裕層顧客に販売することができました。また、新たな太陽光発電案件のソーシングも積極的に行って参りました。インベストメントバンク事業におきましては、太陽光発電設備等の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高560百万円(前年同四半期比15.5%減)、営業利益101百万円(前年同四半期比925.7%増)、経常利益96百万円(前年同四半期の経常利益は6百万円)、四半期純利益89百万円(前年同四半期の四半期純利益は4百万円)となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は170億円(一部円換算US\$1.00=119.27円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は210億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業ではアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業は、売上高47百万円(前年同四半期比44.0%減)、営業損失10百万円(前年同四半期の営業損失は15百万円)となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、太陽光発電設備等の売却を中心に478百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、有価証券の運用益、金融商品仲介業務による報酬を34百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業は、売上高512百万円(前年同四半期比11.3%減)、営業利益161百万円(前年同四半期比155.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### (資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末比、現金及び預金が48百万円、未収入金が68百万円、未成工事支出金が247百万円増加したこと等により、全体で461百万円増加の2,187百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比、土地が169百万円増加したこと等により、全体で172百万円増加の545百万円となりました。

#### (負債の状況)

流動負債は、前連結会計年度末比、短期借入金が451百万円増加したこと等により、全体で461百万円増加の1,016百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、その他が27百万円増加したことにより、46百万円となりました。

#### (純資産の状況)

純資産は、新株予約権の行使による新株発行で資本金、資本剰余金74百万円の増加、四半期純利益89百万円の計上等により、前連結会計年度末比145百万円増加の1,669百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり、平成27年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	884	932
売掛金	23	17
未収入金	16	85
有価証券	209	217
営業投資有価証券	304	329
販売用不動産	11	14
未成工事支出金	131	378
立替金	55	41
短期貸付金	50	81
その他	37	87
流動資産合計	1,725	2,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8	8
工具、器具及び備品(純額)	13	13
土地	151	320
有形固定資産合計	173	342
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	94	99
その他	102	101
投資その他の資産合計	196	200
固定資産合計	372	545
資産合計	2,097	2,732
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	330	782
未払金	149	176
未払法人税等	5	2
預り金	14	26
その他	54	27
流動負債合計	555	1,016
固定負債		
その他	18	46
固定負債合計	18	46
負債合計	573	1,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,169
資本剰余金	617	655
利益剰余金	△254	△202
自己株式	△7	△7
株主資本合計	1,488	1,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	51
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	33	52
新株予約権	2	2
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,523	1,669
負債純資産合計	2,097	2,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)
売上高	663	560
売上原価	537	311
売上総利益	125	249
販売費及び一般管理費	115	147
営業利益	9	101
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	1
その他	0	0
営業外収益合計	2	1
営業外費用		
支払利息	5	2
資金調達費用	-	3
その他	0	-
営業外費用合計	5	6
経常利益	6	96
税金等調整前四半期純利益	6	96
法人税、住民税及び事業税	0	5
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	1	6
少数株主損益調整前四半期純利益	5	89
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△0
四半期純利益	4	89



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5	89
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	19
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	13	19
四半期包括利益	19	108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	108
少数株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント 事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	85	574	3	663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	85	574	3	663
セグメント利益又は損失 (△)	△15	81	△17	48

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	48
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	9

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント 事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	47	478	34	560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	47	478	34	560
セグメント利益又は損失 (△)	△10	149	12	150

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	150
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△51
四半期連結損益計算書の営業利益	101

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。